

東由利村報

No. 98 1965・8・20

発行
東由利村役場
編集
畑山伝二郎
印刷
KK本間印刷所

かけ金は前納で 国民年金

国民年金のかけ金には、7月・10月・1月・4月と年に4回の納期があります。

そして、国民年金できめられているいろいろの年金をもらえるかどうかということは、この納期にキチンとかけ金を納めておけば、いつ、どんな事故にあっても安心というわけです。

このように国民年金のかけ金は3カ月に1回納めれば、よいことになっておりますが、農家の人達のように、毎年秋に米代金はいるため、まとめて納める方が便利だという人達や、3カ月に1回でもめんどろであるという人達のために、前払い（前納）の方法もあります。

かけ金の前納制度というのは、文字どおり、これからの期間についての分のかけ金を前払いすることで、いままでの未納になっていた分を後からまとめて納めることではありません。

前納制度には割びきもあり、毎月かけるわずらわしさやかけ忘れるといった心配もなく、毎日安心して過ごせることの出来る最もよい方法です。わからないことがありましたら国民年金係におたずね下さい。

前納はたして毎日安心！

矢島・東由利

第1回、青年交流会

今春の改組以来意欲的な活動をつづけている本村青年会では、他町村青年会との交流をはかり、相互の親睦と交友を密にして、今後の青年団体活動をより強く高いものにしよう、と、夏季研修会を兼ねて来る8月28日29日（1泊2日）住吉小学校を会場に、矢島町青年会との交流会を行う。

消防訓練大会

7月27日午前9時、昭和40年度消防訓練大会は台山グラウンドで始められた。村長あいさつについて、村が東京オリンピックの精神をこのグラウンドに移し植えようとの願いをこめて、はるばる東京会場か

ら運んで来た巨大なあの日使った国旗掲揚竿に始めて国旗がかかげられ、殉国の碑にこもる英霊に対する黙とうによって訓練が開始された。

終日におたる猛訓練の結果総合順位次のとおりである。

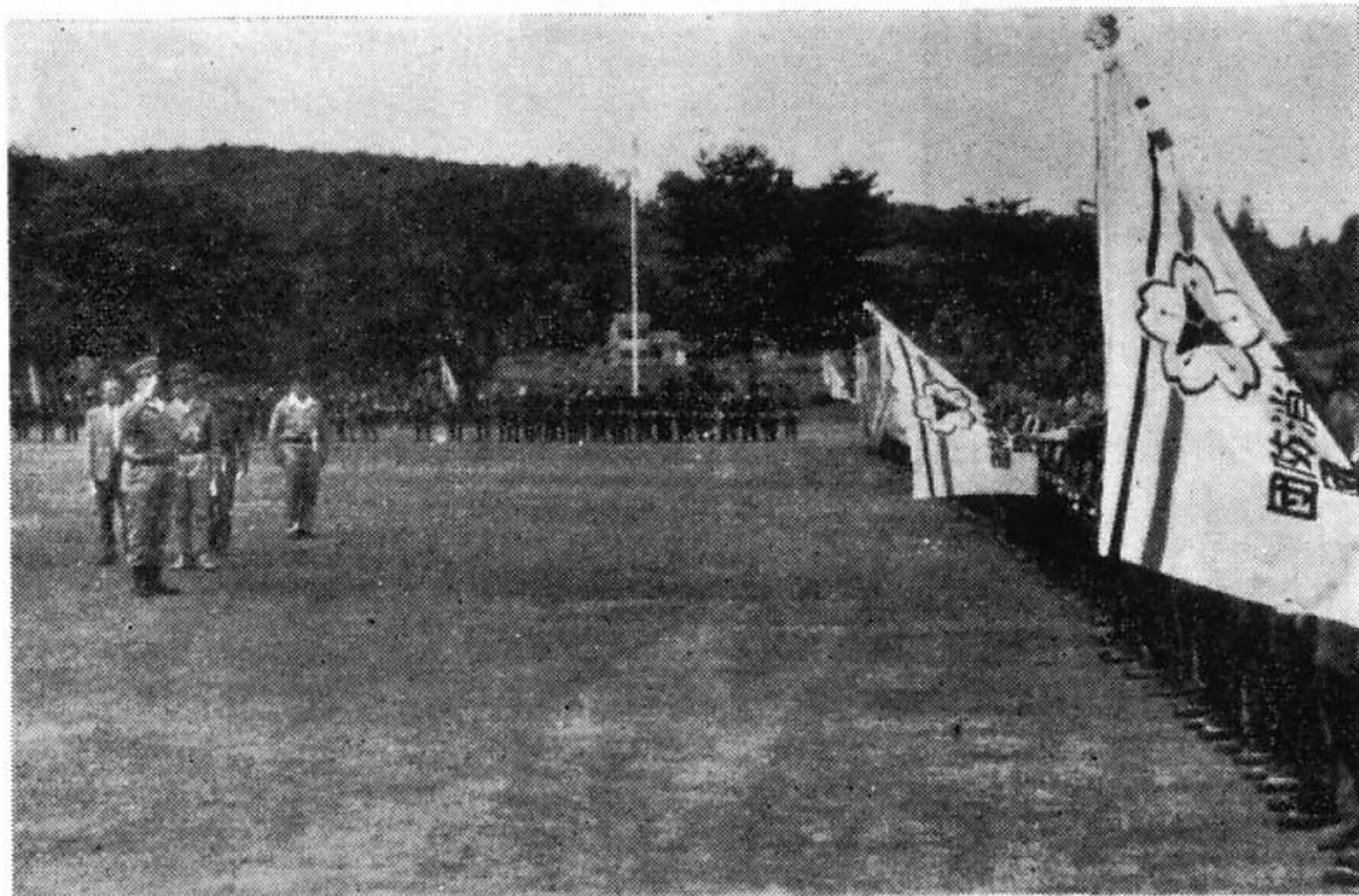
1位第5分団、443.50

2位第7分団、437.50

3位第6分団、437.00

○

なお8月3日日本荘市鶴舞東小学校々庭で行われた、郡消防競技大会には、第5分団が本村代表として出場し、参加10消防団のうち第2位となった



【写真中央、スミボール】

行政懇談会

7月29日13時から16時まで役場で開催、秋田行政監察局第一監察官がお出になられ、村長以下幹部職員、議会議員農協その他組合幹部、各種団体代表によって、次のような議題にととづき、行政の民主化に関する懇談が行われた。

- ①各行政が不統一なために困っていること。
- ②法令に定められた当時と事情が変り、法令が実情に合わなくなって困っていること。
- ③主務官庁の法令の解釈が地

方の実情や他の法令とマッチ（調和）しないため調整に苦しんでいる場合

- ④法令に規定されていることが繁雑で、簡素化が必要であることについて。
- ⑤許可認可を早めること。
- ⑥公共団体（国鉄、専売、電電公社など）又は公団、公庫等に関する問題点。
- ⑦政府の出先機関がなげっぱなしにしているために困っていること。
- ⑧その他国の行政機関に関する要望。

○行政苦情相談のおしらせ

行政監察局では、役所に対する一般の苦情を受付けております。どなたでも苦情のある方はお気軽に申出て下さい。

苦情の申出は書面でも口頭でもどちらでもよく、もちろん無料です。

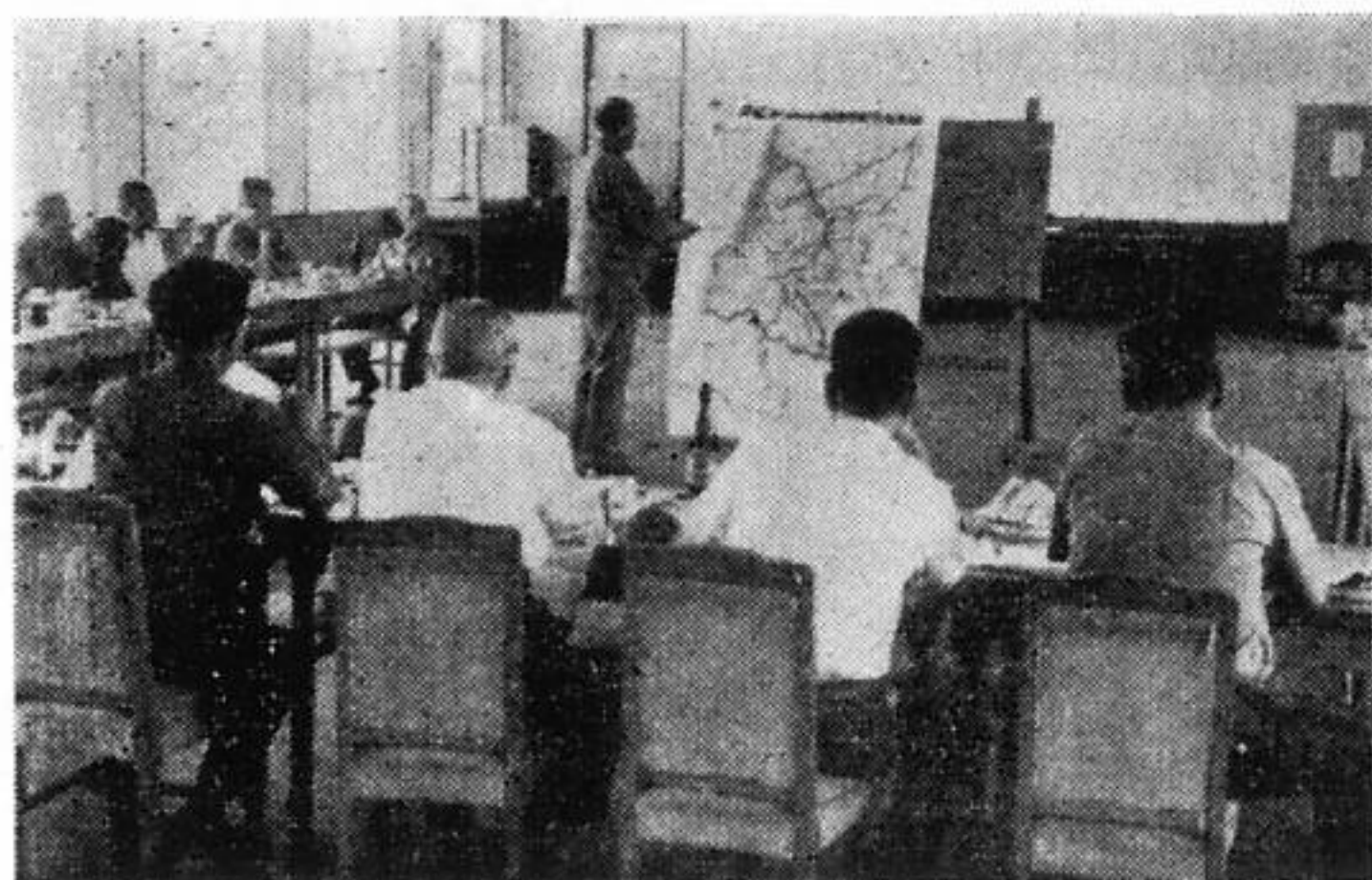
○行政相談委員が苦情のお取次をいたします。

この苦情相談を一層気軽に進めるために市町村に行政相談員が大臣の委嘱により配置されておりますから、ご遠慮なくご相談して下さい。当村の行政相談員は、大琴、梅津千代松氏です。

道路視察 県議会 土木委員会

8月5日、県議会土木委員会の道路視察団が来村した。一行は、土木委員会委員長、田口芳郎、委員、山崎良造・岡部正徳・桜庭小右衛門・佐藤邦彦・佐々木信行の各氏と郡選出県議会議員、木内・佐藤の両氏、篠田河川課長・由

利土木事務所長外係職員で、蔵大曲線開通の障害となっている白沢峠の改修促進のための現地視察を行い、県道玉米矢島線のうち石高大吹川間の改修促進、智者鶴橋、住吉沖田橋の永久橋化工事を早期に着工すること。奥カ沢・館合間の国道舗装を明年度中に完成することなどの陳情を了承して帰った。

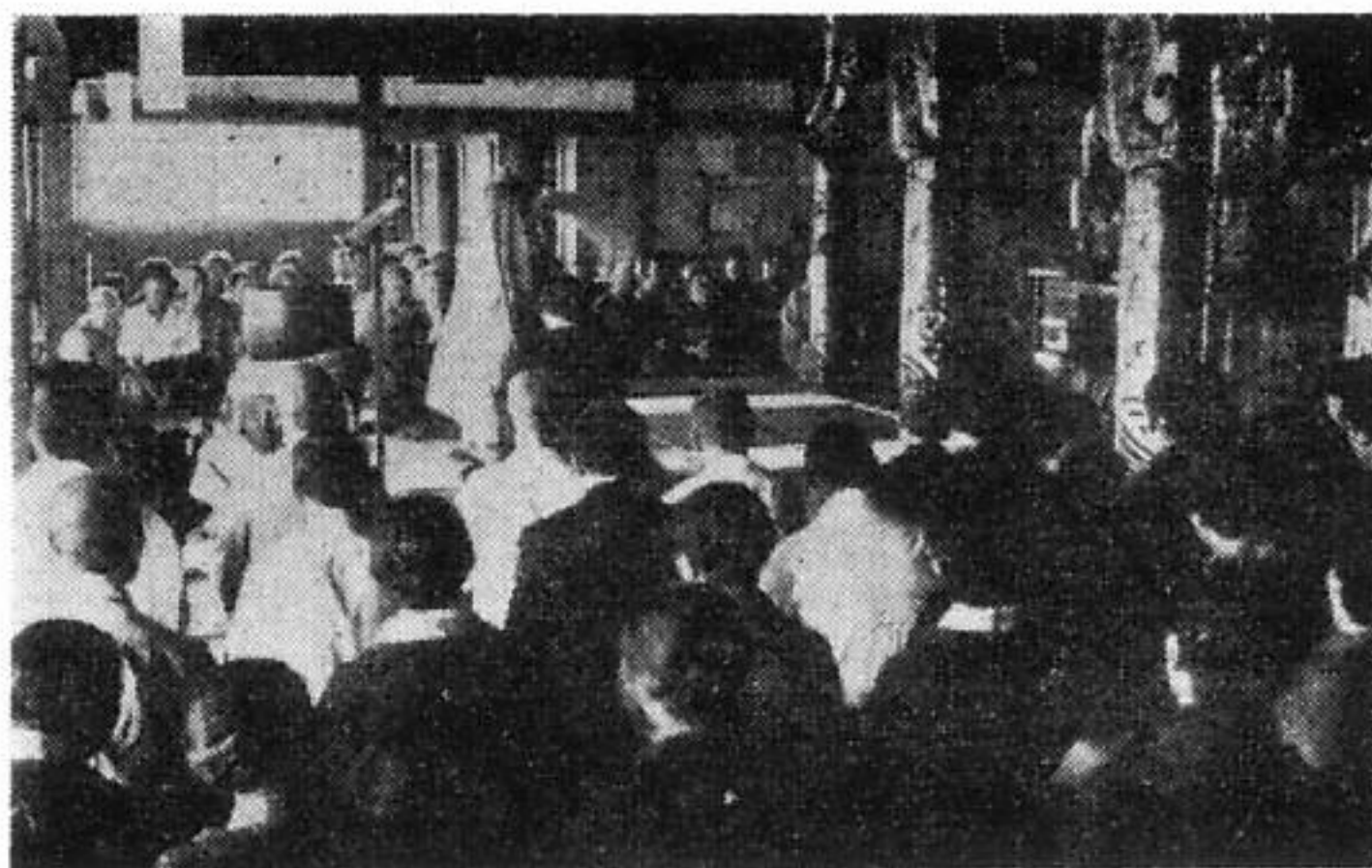


道路事情を説明する村長

国勢調査について

国勢調査は統計法に基づいて行なわれる。国のもっとも大がかりなかつ、基本的な人口統計調査であります。国勢調査は、その第1回調査を大正9年に実施し以後10年目ごとに大規模調査を、その中間5年目にあたる年に簡易な方法により調査を行ってきました。今回行なわれる昭和40年国勢調査は第10回目に当たります。国勢調査の結果は、国や県、村などが、教育求人求職、環境衛生、地域開発、交通など、いろいろな問題の対策をたてる場合に欠かすことのできない資料となります。とくに最近、就職や出かせぎなどで、農村から都市へ移動する人がふえていますので、村の人口の大きさや、男女、職業、年齢などの構成がかなり変わっていると考えられます。今回の国勢調査では調査の結果を早く知るために「光学式読取り装置」という最新型の機械と電子計算機とを使って集計を行なうことになっています。これによって前回40

カ月かかった集計が20カ月でできることとなります。各家庭には9月24日から国勢調査の調査員がおうかがいして、調査票に記入をお願いすることになっています。国勢調査は9千8百万人にのぼると予想される日本の全人口を全国いっせいにれなく調査する大規模な調査ですので、村においても1人も調査もれのないようにこの調査を完全に実施するためには、村民皆様のご理解と特段の御協力がぜひ必要です。きたる10月1日を期して行なわれる国勢調査では、もれなく調査票にご記入くださるようお願いいたします。なお、調査後において秘密に属することがらはもちろんのこと集められた調査票は統計上の目的以外に、ぜったい使用されませんので、正確に調査票に記入されますよう重ねてお願いします。



8月21日 蔵立寺で行われた慰霊祭

経済問題を中心に

農協婦人部研修会

8月5日、農協婦人部東由利ブロック研修会が、斎藤会長外2名の中央部役員の出席のもとに東由利農協で開かれた。農協婦人部役員約40名の外に、東由利農協組合長、参事、公民館職員等の参加を得て、午前中は「農村の後継者を確保するための魅力ある村づくり」を中心に熱心な討議が行われ、午後は「農協合併をいかにして促進するか」をテーマに話し合ったが、これについては斎藤会長などの助言もあって、農協合併は好むと好まざるとにかかわらず絶対に必要であるということを前提に、合併については婦人層の意見要望を十分に取り入れるようにすること。合併の

意義が婦人層には殆んどわかっていないから、婦人部員はこのことの研修に真剣に取り組む、農協合併の推進のみにとどまらず農村経済のにない手としての役割を果し得る実力を養うことを申し合せた。

ついで座談会に移り、消費経済に対する我々の態度はこれでよいか？ということからいろいろ話し合いがなされ、成人式の服装問題が大きく取上げられたが、結局外部より規制することは好ましくないあくまでも自主的に、簡素清潔な中に、成人を記念するにふさわしい風格あるものを選び外装よりも、内心の美しさに心をむける方向に親も一しよにつとめようということになった。

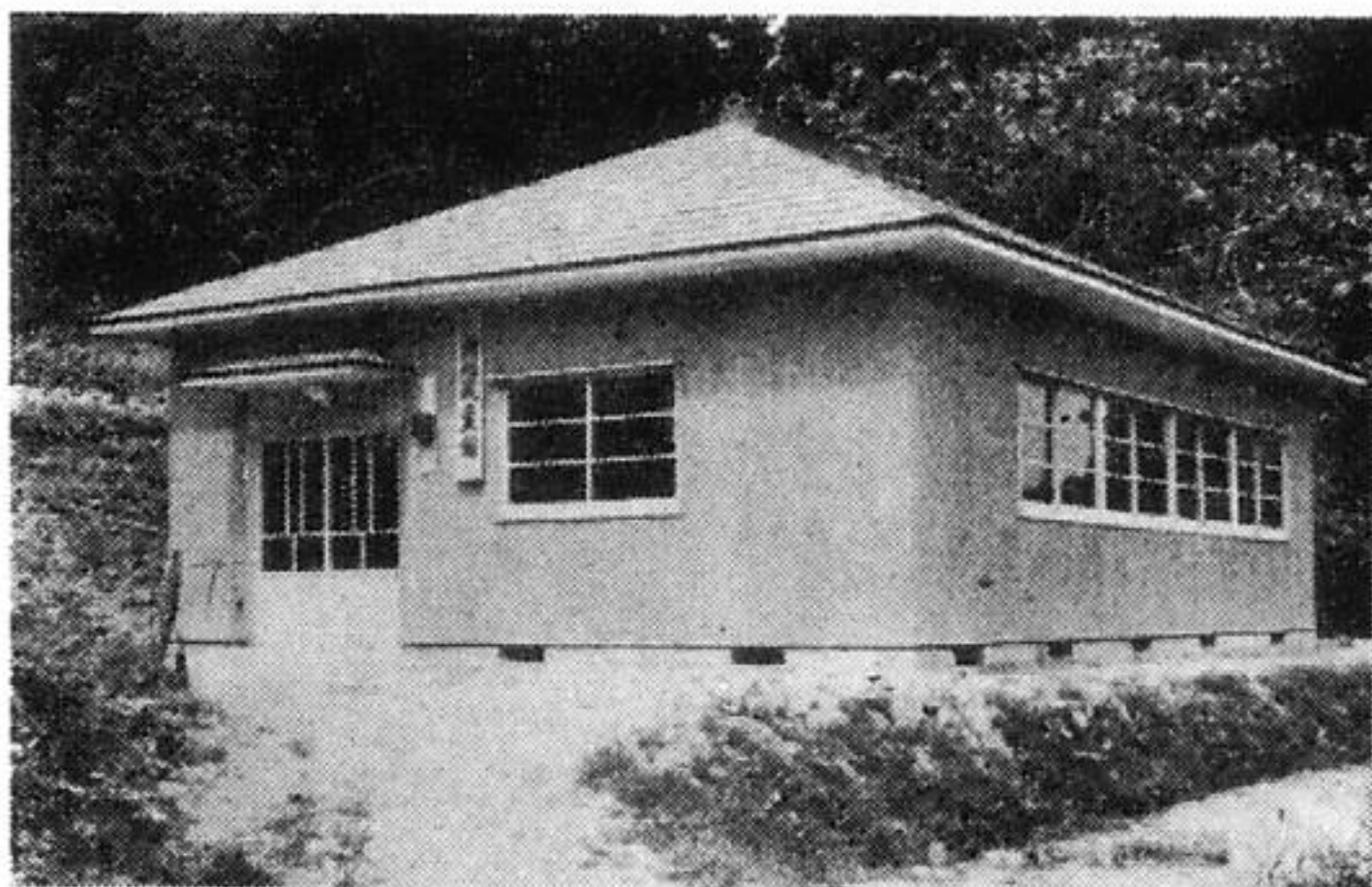


第7回社会人野球大会

8月15、16日、台山グラウンドで行われた。参加13チームで、2日間にわたる熱戦の末、決勝戦は、蔵ローズ、新町チームによって

行われ、8対4で新町チームが優勝した。

なお最高殊勲選手は新町チーム小松運一君、敢闘選手は蔵ローズ太田久君と決定した



新処児童館竣工式

天神様とおとなり

八月四日、新処児童館の竣工式は、福祉事務所吉尾所長補佐、村議会議員、村長助役以下役場関係職員、部落民（各戸2名）小中学生37名、折柄道路視察のため来村中の木内県議の特別参列を得て盛大に行なわれた。

村長あいさつ

「今日は白沢峠に道路視察に行つての帰りだが、雪のあるうちから心配していた稲が、法内の人達の熱心と、すぐれた技術によって、沢田まで実にみごとに育っている。まことによろこびにたえない。長い間の全部落民の協力によって、このように立派な児童館が出来た。この熱心によって、稲よりも大事な子どもを稲よりもみごとに育て上げるよう心からおねがいます。」

木内県議 祝辞

私は現在、県議会の教育厚生委員会に席を置いている。そのためではなく、以前から教

育は一切の政治に優先してその根底をきづくものと考えている。その教育の中でも子どもの教育は、人づくり、村づくり、国づくりの根本である。今、あなた方はこのようにすぐれた児童館を持つことになった。これを拠点とし、本日をスタートとして、今後新たな躍進をなされるよう、希望し且つお祝いたします。

この児童館は特志家の寄附による敷地108坪、建坪22坪の木造平屋トタンぶきで、工事費68万円（うち県補助30万円）日本間2室の外図書室、炊事場、水道設備に至るまで完備したものである。隣接する天神社の境内は、遊び場として角力場、遊具の備えつけも計画されており、誠に恵まれた環境である。

写真上 児童館、

下 子ども会代表のお礼のことば

第 2 回

東由利村リズム体育大会

- 目的、全村民が1場に会しリズムを通して体育、情操の向上と親睦をはかる
主催、東由利村教育委員会
日時、9月1日（水）
9時30～15時00
場所、台山グラウンド
種目、
- | | |
|-------------------------------------|---------------------------|
| 1 開会式○入場行進（中学校ブラバン・国旗・子ども会旗・児童生徒・一般 | 3 保育園ダンス（両保育園） |
| ○開式のことば | 4 小学校（低学年）ダンス |
| ○国旗掲揚 | 5 "（高"）" |
| ○大会々長あいさつ | 6 中学校（男子） |
| ○名誉会長あいさつ | 8 "（女子）ダンス |
| ○来賓祝辞 | 9 一般フォークダンス（ハタハタ音頭、秋田甚句） |
| ○「若い力」斉唱 | 10 かかしショー |
| ○閉式のことば | 11 一般盆踊（地区別サークル） |
| 2 ラジオ体操、たのくろ体操 | 12 ゲーム |
| | 13 消防団模範演習（規律訓練、ポンプ操法、分列） |
| | 14 仮装コンクール（学校、団体、一般） |
| | 15 閉会式 |
| | ○開式のことば |
| | ○大会副会長のあいさつ |
| | ○「県民の歌」 |
| | ○国旗降下 |
| | ○閉式のことば |

8月税金の納期 村、県民税第2期分

8月に発付される督促状
固定資産税第2期分
国民健康保険税1期分

税金はぜひ 納期内完納を

◎

○広報にのせるように依頼
県税事務についてはいろいろとご協力くださいまして厚くお礼申し上げます。

さて来る8月31日は、昭和40年度の個人事業税第1期の納期限でありますので、納期内に是非完納するよう要望している旨を広報等掲載してくださるようお願いいたします（由利財務事務所長）

過去4カ年の成績順位
本荘市由利郡 秋田県
(11の中) (72の中)

36年	11 位	42 位
37年	10 "	38 "
38年	9 "	33 "
39年	7 "	17 "

出生届と死亡届 届出先について

出生届と死届亡は、そのことのあった市町村長宛に届けることになっています。

例えば本荘の病院でお産をしたり、組合病院でなくなったりした場合は、本荘市役所で出生届や死亡届をしていただくことになります。勿論埋葬の許可や火葬の許可も本荘市役所から出してもらうことになります。それをあやまって東由利村役場に届けられても受付けることが出来ないの、もう一度本荘まで手続のために行ってもらわねばならないことになります。このような気の毒なことがたびたび起りますので、よくおぼえておいていただきたいと思います。（戸籍係）

ゼミナール交流会

秋田県教育委員会主催、本荘市由利郡ゼミナール交流会は、9月14日当村役場を会場として開催される。参加者は市郡ゼミリーダー71、担当主事11、講師・指導員20、郡農林部・県関係、村内ゼミ会員など150余名である

「水とみどりを中心に」 美しい村づくり

今、全国で、昭和40年度「美しい町づくり全国コンクール」をやっておりますこれは昨年につづき第2回目のもので、今年は「水とみどり」を中心とした運動を強く推し進め、みどりゆたかに水清く健康で快適な生活環境、美しい国土づくりに懸命になっております

又、全国に、18団体の母子記者をまわらせて、親の目から、子どもの目から、どうしたらこの国土のあらゆるところを美しくすることが出来るかを研究する運動も始められています。

昨年、知事夫人が、婦人会のために我が村にお出なされた時の最初のことは、「山うるわしく流れ清らかに、この中に住まわれる皆様は、すこやかに明るく美しい」とほめたたえ、それから「祈りある生き方」というお話をして下さいました。

我が村が、その時の知事夫人のおほめのことばのようになるようにと祈らずにはいられない。

今が水およぎのまつ最

中、その子どもたちがいう。「なんとか川にゴミをすてないようにしてもらえないだろうかおよいでいる上にはきたないゴミ、底にはあぶないガラスカケやセトカケ」と。

なる程、橋のたもとというたもとはゴミの山、大金をかけた近代橋の建築美も台なしだ。この間の大水のあと川の姿はどうでしょう。本来、美しかるべき柳のみどりはビニールのボロをまとうて見るにたえないビニールはくさらないなげずに焼くことにしたいもの、ゴミも川に流さずに焼くのが一番よく片づきます。

「美しい町づくりコンクール」では、住民の一人一人が自分から立ち上った運動であることを第一の条件とし、及ばないところを行政(村)にはたらきかけるよう、といっています。

部落ごとに工夫をこらし、まづ美しい川になるようにしたいものです。

(ご意見を広報係あてお寄せねがいます)

やつてよかつたと答が一致

農業構造改善実施地視察



いよいよ今秋から構造改善工事に着手することになっている蔵地区の人々は、事前にすでに構造改善を実施したと

ころの実情を視察しながら、親しく当事者と会って、工事施行前後の問題点をきき、実施上の参考にしようと有志25



文化財調査

8月8日村では奈良環之助氏・木村与之助(写真お諏訪様の氏に依頼して・新町の薬師如来像・八本杉岩大イチョウ)館諏訪神社の大イチョウなどを調査した。

人が、役場の構造改善担当職員の案内で、7月23日平鹿町大森町の構造改善地区を視察した。

平鹿町では構造改善の実地を視察した後、第1～第4土地改良区の理事長、評価委員換地委員を囲み、事業実施についての問題点について約2時間にわたり質疑応答をした。ついで大森町川西地区の120ヘクタール、3反歩田を視察した後、土地改良係、土地改良区職員を中心に疑問点をただした。

要点はおよそ次のとおり

平鹿町(雪寒事業)

①水のかげ引が順調に行くか
時間水量共に改良前の半分で足りる

②機械だけで高低のない田が出来るか。

人力とはくらべものにならない程よく出来る。

③実測配分と公簿面による配分との比較

条件が大体同じなので(高低や面積ののびがほとんどない)実測のため費用をかけただけむだになったと思っている。

④改善してよかったか。

よかった。町全体の4千ヘクタール余を全部改善するすでに第2次指定を受けている。

大森町川西(構造改善)

①事業実施までの経過

よくわかるまでにはずいぶ

ん反対があった。十分な話し合いによって納得が行ってからは、始め反対した人達が先頭に立って事業を推進している。

②工事に取りかかってからの問題点は

何よりも工事が予定よりおくれて、田植に間に合せかねたことである。

その理由のおもなものは、地元業者に下請させたために、お互の足並がそろわなかったこと、出稼のために予定した労務者を確保出来なかったこと。

③工費の負担は工区毎としたか
プール制にしたか

条件が同じなために各工区平等割としたが、地形のちがうところでは工区別にすべきであろう。

期待される 知事の大講演会

日本海沿岸諸県知事の、ソ聯への経済使節団長として親しくソ聯主脳部と会談し、日ソ貿易に対する確信を持って帰国した小畑知事は、秋田県の新産業都市指定と相まってこれまで裏日本という名のもとに、後進地帯とされていた日本海岸諸県の飛躍的大発展を期する雄大な構想を持っておられる。この点を重視した村長は、直接村民にこの話を聞かせたいものと、知事をお願いして、9月中に大講演会を聞くことにしている。